

地域交流イベント「ふれ愛まつり」と併催で9,000名が来場

## 三重工場で「YOKOHAMA 千年の杜」植樹祭を開催

横浜ゴム(株)(社長:南雲忠信)は5月3日(土)、三重県伊勢市にある三重工場で「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの植樹祭を開催した。地域住民の皆さまをはじめ、来賓でお招きした伊勢市長、地元出身の国会議員や県議員の方々、伊勢市消防本部消防長、そして横浜ゴムグループ社員とその家族など約800名が参加し、タブ、シイ、カシ、サツキ、ヤマザクラなど53種類の苗木、約5,500本を植樹した。同プロジェクトの植樹祭開催は平塚製造所に続き2拠点目となる。

三重工場の植樹祭は、地域交流イベントとして毎年開催している「ふれ愛まつり」とあわせて実施した。植樹祭は地元で活躍する玉丸城太鼓の実演を合図に午前8時半過ぎに開会。持永義登工場長が植樹祭開催の趣旨を説明した後、来賓の紹介と挨拶が行われた。続いて植樹を指導する宮脇昭氏(植物生態学者/横浜国立大学名誉教授)が植樹方法を詳細に説明。その後グループに分かれて植樹を行った。植樹祭が終了した11時過ぎからは「ふれ愛まつり」を開会。今年は愛・地球博マスコットキャラクターのモリゾー・キッコロが登場したほか、テレビキャラクターショーや地元中学校のブラスバンド演奏、環境〇×クイズ、お楽しみ抽選会、野点コーナーなど子どもからお年寄りまでが楽しめるさまざまなイベントを開催し、総勢9,000人が来場した。出店コーナーでは焼きそばやフランクフルトなどを振る舞い、午後2時過ぎに散会した。

「YOKOHAMA 千年の杜」は、横浜ゴム創業100周年の2017年に向けて、およそ10年をかけて国内外の生産事業所に杜を創生しようというプロジェクト。国内7工場、海外グループ会社の11工場で、合計約50万本の植樹を計画しており順次植樹を行っていく予定。



植樹方法を説明する宮脇昭氏



植樹の様子

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム(株) 広報部 担当:入江 石塚  
TEL: 03-5400-4531 FAX: 03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ  
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570